
「自殺未遂症例の実態調査と類型化の試み—群ごとの効果的介入法に関する研究—」 に関するお知らせ

このたび、当院で診察を行った患者さんのカルテ情報を用いた以下の研究を実施いたします。本研究は、埼玉医科大学国際医療センター臨床研究 IRB の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2020 年 4 月～2025 年 6 月 30 日の期間に埼玉医科大学国際医療センターおよび埼玉医科大学病院救急センターを受診した患者さんのなかで自殺未遂症例として埼玉医科大学国際医療センター救命救急科の医師が対応した患者さんが対象となります。

2. 研究の目的

1. 研究の目的および意義

自殺未遂症例について、性別、年齢、精神科診断（主診断、併存症）、自殺未遂の方法、自殺未遂の反復回数、身体的重症度、転帰（入院、帰宅等）等につき、後方視的に調査を行い、統計的に自殺未遂症例の類型化を試みたうえで、各群の特徴を抽出し、群ごとに優先すべき介入法を考察します。

これまでに、自殺未遂症例の類型化の試みは行われてきており、当院でも 2009～2011 年にかけて調査等を行いました。自殺未遂症例の類型は地域や時代により影響を受ける点が問題といえます。精神科領域において、2010 年以降、神経発達症と診断される症例数が増加したり、過量服薬についても医療機関で処方されている向精神薬中心から市販薬使用例が増加したりと、変化がみられています。これらを踏まえ、本研究は精神科的観点から、2020 年以降の症例につき、上記のような自殺未遂症例の類型化を試みることで、優先すべき介入法を考察することで、自殺未遂症例への対応の標準化、ひいては自殺未遂対応の質的向上へつながると考えます。

3. 研究期間

対象症例：2020 年 4 月～2025 年 6 月 30 日

研究期間：病院長の許可後～2027 年 3 月 31 日

4. 利用または提供の開始予定日

研究実施許可後から 1 ヶ月程度。

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

カルテ情報を基に性別、年齢、精神科診断（主診断、併存症）、自殺未遂の方法、自殺未遂の反復回数、身体的重症度、転帰等を抽出します。

医療機関毎に、研究対象者の氏名、ID、生年月日など個人情報の代わりに研究対象者一人一人に研究特有の患者識別コードを割り付け、匿名化した状態で研究データを管理します。その際、患者識別コードと個人情報を連結する対応表を作成します。対応表は施錠可能な保管庫内に保管され、鍵は個人情報管理者が管理します。作成された対応表が外に出ることはありません。対応表は、研究終了後5年間保管され、その後シュレッダーにかけられて完全に廃棄されます。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

本研究の当院における個人情報管理者

埼玉医科大学国際医療センター 救命救急科 井上 孝隆

2. 試料・情報の取得方法

埼玉医科大学国際医療センターおよび埼玉医科大学病院救急センターを受診した患者さんのなかで自殺未遂症例として埼玉医科大学国際医療センター救命救急科の医師が対応した患者さんのカルテ情報を用います。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

研究代表者 埼玉医科大学国際医療センター 救命救急科 平田 吾一

4. 試料・情報の管理責任者

埼玉医科大学国際医療センター 病院長 佐伯 俊昭

5. 試料・情報の提供方法等について

この研究で得られた患者さんの情報は、当院および埼玉医科大学病院において、個人を特定できないように加工した上で施錠可能な保管庫で管理いたします。当院から埼玉医科大学病院へ情報を提供する際には、改めて匿名化につき確認した上でパスワードをかけ、学内メールで送信します。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

本研究で調査・収集したデータは、将来行われる別の研究において利用する可能性があります。

- ・将来用いられる可能性のある研究の概括的な目的及び内容：将来、研究機関を延長した上で本研究計画書の方法により更に解析する予定があります。
- ・他の研究機関への提供の目的：当院のデータと大学病院のデータを統合して解析するためです。
- ・提供する可能性がある研究機関の名称：埼玉医科大学病院

お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

○研究課題名：自殺未遂症例の実態調査と類型化の試み ―群ごとの効果的介入法に関する研究

○研究代表者：埼玉医科大学国際医療センター 救命救急科 講師 平田 吾一

〒350 - 1298 埼玉県日高市山根 1397 - 1

TEL : 049 - 984 - 4111

